

2024. 6. 26

北九州市教職員組合にゅうす



子どもたちに平和の大切さを伝えたい！ ～「平和に関する学習」授業提案学習会、開催される！～



5月31日(金)「平和に関する学習」授業提案学習会が教育会館で行われ

ました。今回のテーマは、「子どもたちの心にひびく平和学習」でした。平和学習について、4人の方に提案をしてもらいました。神野多美子さんは、低中学年の平和学習を誌上提案しました。内容は、「なきむしせいとく」(沖縄戦)、「へいわってすてきだね」「八文字焼きに思いを込めて」(八幡大空襲)、「平和絵本の紹介」でした。中高学年のとりくみを権藤優花さんと佐藤靖子さんにいただきました。権藤さんからは、平和学習にとりくむ上での心構えや思いを語ってもらい、佐藤さんは「北九州と長崎の平和のつながりについてしる～八幡大空襲を通して～」という題材を提案してくれました。最後に引野中の中附さんから「命の重み、命の尊さを考えよう」というテーマで学校全体でのとりくみを提案してくれました。読み物資料とDVDを使って「ホロコースト」について学習し、命の重みや尊さについて子どもたちは学んでいきました。



学習会に参加された方の感想です。

- 自分が学ぶと同時に、学びを拡げることの大切さを実感(冒頭の挨拶から)三人の方の人柄がよく表れて、それぞれの個性で平和学習はやっていいのだと今さらながら、「私もやってみたい！」と思いました。(今は現場から離れているので)
- 各学校、職場で平和の取り組みをそれぞれが中心となつてできる範囲で無理しないものを拡げていけるといいなと思いました。
- 平和学習の大切さと、実践を同学年に伝えていくための手立てを学び直すことができました。
- 小学校、中学校で平和学習での授業実践を聞くことができた。熱意を持って取り組まれていることを知れた。実践資料集の中で、「小倉造兵廠で兵器をつくる 学徒動員の女学生 伯母の姿が観える気がしました。(今現在跡地に住んでいます)
- 若い人にどう伝えるのか工夫しながら、平和教育をやられているのに感動した。3人の方がそれぞれの場面をつくるのに、自分の生き方も重ねて取り組んでいるのに感動しました。
- 先生方の実践がよく研究されていて素晴らしいと思いました。本当に戦争についてや平和の大切さを伝えたいという気持ちがよく伝わってきました。今日はありがとうございました。
- 途中からの参加で中学校の実践しか直接は聞いていませんが、「教材」の持つ「力」ということを感じました。また、教員の「熱量」の違いのこと、そしていかに全体として実践するか、方法とやり方も参考になりました。特支でもそうですがやはり「教材」は大切に、特に視覚的、音などの工夫にもつながっていたと感じました。そして現地の持つ「力」かと思いました。
- 8時までの時間にもっと感想やそれぞれの取り組みが交流できたのではないのでしょうか。そこが残念でした。
- もっと多くの方に聞いていただきたいと思いました。土曜日の昼間などは？



※今回提案された資料や、「反戦・平和学習」実践資料集が必要な方は、連絡してください

わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください！

///JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1

E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL (093) 953-0381

